

【大学間協定留学】 留学報告書

| 記入日 | 2026年5月14日 |
|--|---|
| 明治大学の所属学部・研究科 ※学部・学科・研究科・専攻等 | 経営学部公共経営学科 |
| 留学(渡航)した時の学年 | 2年生 |
| 帰国年月日 | 2026年5月13日 |
| 明治大学卒業予定年月 | 2028年3月 |
| 留学先大学について | |
| 留学先国 | アメリカ合衆国 |
| 留学先大学 | ジョージア大学(日本語名) University of Georgia(現地言語名) |
| 現地使用言語/ 授業使用言語 | 英語/英語 |
| 留学期間 | 2025年8月～2026年5月 |
| 留学先大学で在籍した学年 | 2年生 |
| 留学先の所属学部等 | <input type="checkbox"/> 特定の学部・研究科等に所属している(以下に学部等名を記入) ※学部等名 日本語名: 現地言語での名称: <input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部等に所属せず様々な学部等の授業を履修している <input type="checkbox"/> その他: |
| 形態 | <input type="checkbox"/> 国立 <input checked="" type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他: |
| 学年暦 ※記入例: 1 学期: 4月上旬～7月下旬 2 学期: 9月中旬～2月上旬 | 1 学期: 8月中旬～12月上旬 2 学期: 1月中旬～5月上旬 3 学期: 4 学期: |
| 学生数 | 人 |
| 創立年 | 年 |

| 留学費用 | | | |
|-------------------|---|-------------|--|
| 留学費用項目 | A 現地通貨 (アメリカドル) (1 現地通貨 = 157 円) | B 日本円 | 備考 |
| 授業料 | | 円 | 交換留学のため学費免除 |
| 宿舍費 | 約 \$ 8,600 | 円 | |
| 食費 | 約 \$ 4,600 | 円 | |
| 図書費 | 約 \$ 300 | 円 | |
| 学用品費 | 約 \$ 30 | 円 | |
| 携帯・インターネット費 | 約 \$ 180 | 円 | |
| 現地交通費 | 約 \$ 300 | 円 | (<input type="checkbox"/> 大学まで徒歩・自転車) |
| 教養娯楽費 | | 円 | |
| 旅費(留学中) | 約 \$ 500 | 円 | |
| 被服費 | | 円 | |
| 医療費 | | 円 | |
| 保険費 | 約 \$ 3,700 | 円 | 形態: |
| 渡航旅費 | 約 \$ 3,500 | 円 | |
| ビザ申請費 | 約 \$ 400 | 円 | |
| 雑費 | | 円 | |
| その他 | | 円 | |
| その他 | | 円 | |
| 合計 ※現地通貨 および 円 | \$22,110 (=3,471,270 円) | 円 | |
| 総計(A+B) ※円 | | 3,471,270 円 | |

※現地通貨で支払ったものは「A 現地通貨」の欄に、日本円で支払ったものは「B 日本円」の欄に記入し、総計も記入してください。

※現地通貨名、現地通貨と円の為替レートも必ず記入してください。

現地情報

1) 留学期間中、病気やケガをしましたか。した場合、どこで治療を受けましたか。

(例: 現地の病院、学内の診療所)

なし

あり (治療を受けた場所: _____)

2) 留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。

(例: 留学先大学の相談窓口、現地の友人等)

なし

あり (問題の内容や相談した人等: _____)

3) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?

大学のメールなどを通して様々な情報が得られる。実際に被害を受けたことは無い

4) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。

(例: 寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェではWIFI接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

敷地内の建物の中ならどこでも良好

5) 現地での資金調達はどうに行いましたか?

(例: 現地に銀行口座を開けて日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

現地銀行と日本のカード

6) 現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えてください。

基本的な物は手に入る。個人的に必要なものがあればできるだけ持っていくべき

7) 【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。

(例: 渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った。)

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入)

| | |
|--|--|
| 1) 留学先で取得した単位数合計 | 本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。 |
| 24 単位 | <input type="checkbox"/> 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由:) |
| 2) 履修登録の時期・方法及び履修制限 | |
| <input checked="" type="checkbox"/> 出発前 <input checked="" type="checkbox"/> 出発後 <input type="checkbox"/> 派遣先大学の事務室 <input type="checkbox"/> オンライン <input type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他() <input type="checkbox"/> 履修の制限があった: | |
| 3) 以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。 | |
| 履修した授業科目名(留学先大学言語) | 履修した授業科目名(日本語) |
| Principles of Microeconomics | ミクロ経済学 |
| 科目設置学部・研究科 | |
| 履修期間 | 1 学期間 |
| 単位数 | 3 |
| 本学での単位認定状況 | 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい) |
| 授業形態 | (チュートリアル、講義形式等) |
| 授業時間数 | 1 週間に 50 分が 3 回 |
| 担当教授 | |
| 授業内容 | ミクロ経済学 |
| 試験・課題等 | 授業内で出される課題の他、定期試験が計 3 回+期末テスト |
| 感想を自由記入 | ミクロ経済学についての授業。授業内容を基に、理解度確認クイズが出題される。 |

| 履修した授業科目名(留学先大学言語) | 履修した授業科目名(日本語) |
|---|---|
| Resources, Society, and the Environment | 自然と社会の持続可能性について |
| 科目設置学部・研究科 | |
| 履修期間 | 1 学期間 |
| 単位数 | 3 |
| 本学での単位認定状況 | 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい) |
| 授業形態 | (チュートリアル、講義形式等) |
| 授業時間数 | 1 週間に 75 分が 2 回 |
| 担当教授 | |
| 授業内容 | 環境資源と人間社会の関係についての授業 |
| 試験・課題等 | 授業内課題と定期試験計 2 回 + 期末試験 |
| 感想を自由記入 | 持続可能性についての多角的な考えを学ぶ授業。フィールドワークの機会も存在する。 |

| 履修した授業科目名(留学先大学言語) | 履修した授業科目名(日本語) |
|--|--|
| Water Sustainability in the Anthropocene | 人新世における水の持続可能性 |
| 科目設置学部・研究科 | |
| 履修期間 | 1 学期間 |
| 単位数 | 3 |
| 本学での単位認定状況 | 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい) |
| 授業形態 | (チュートリアル、講義形式等) |
| 授業時間数 | 1 週間に 75 分が 2 回 |
| 担当教授 | |
| 授業内容 | 現代における人間社会での持続可能な水の利用についての授業 |
| 試験・課題等 | 課題とレポート |
| 感想を自由記入 | 水資源を中心に、環境課題と人間社会の関係性について考える授業。一番印象に残っている。 |

| 履修した授業科目名(留学先大学言語) | 履修した授業科目名(日本語) |
|--------------------------------|--|
| Natural Resources Conservation | 自然資源の保全 |
| 科目設置学部・研究科 | |
| 履修期間 | 1 学期間 |
| 単位数 | 3 |
| 本学での単位認定状況 | 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい) |
| 授業形態 | (チュートリアル、講義形式等) |
| 授業時間数 | 1 週間に 75 分が 2 回 |
| 担当教授 | |
| 授業内容 | 環境資源の保全、利用に関する授業 |
| 試験・課題等 | 課題と定期試験計 2 回+期末試験 |
| 感想を自由記入 | 環境、持続可能性についての授業。担当講師以外からも各回に招待される講師から話を聞くことが出来る。 |

| 履修した授業科目名(留学先大学言語) | 履修した授業科目名(日本語) |
|--|--|
| Global Climate Change: past, present, and future | 国際的気候変動の変容と未来 |
| 科目設置学部・研究科 | |
| 履修期間 | 1 学期間 |
| 単位数 | 3 |
| 本学での単位認定状況 | 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい) |
| 授業形態 | (チュートリアル、講義形式等) |
| 授業時間数 | 1 週間に 75 分が 2 回 |
| 担当教授 | |
| 授業内容 | 気候変動に関する授業 |
| 試験・課題等 | テスト 3 回、エッセイ、プレゼン、課題 |
| 感想を自由記入 | 気候変動とその影響を様々な例から学ぶ授業。グループワークなどを通して温暖化を新たな視点から考える事が出来た。 |

| 履修した授業科目名(留学先大学言語) | 履修した授業科目名(日本語) |
|--|---|
| Ecological Basis of Environment Issues | 環境問題の生態系に対する影響 |
| 科目設置学部・研究科 | |
| 履修期間 | 1 学期間 |
| 単位数 | 3 |
| 本学での単位認定状況 | 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい) |
| 授業形態 | (チュートリアル、講義形式等) |
| 授業時間数 | 1 週間に 75 分が 2 回 |
| 担当教授 | |
| 授業内容 | 環境問題についての授業 |
| 試験・課題等 | 定期試験計 3 回と期末試験 |
| 感想を自由記入 | 環境問題の影響を受けている生き物について考えていく授業。人間社会のどの部分が影響を及ぼしているのかを知ることが出来る。 |

| 履修した授業科目名(留学先大学言語) | 履修した授業科目名(日本語) |
|---|---|
| Environmental Geoscience and Sustainability | 地球科学と持続可能性 |
| 科目設置学部・研究科 | |
| 履修期間 | 1 学期間 |
| 単位数 | 3 |
| 本学での単位認定状況 | 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい) |
| 授業形態 | (チュートリアル、講義形式等) |
| 授業時間数 | 1 週間に 75 分が 2 回 |
| 担当教授 | |
| 授業内容 | 地質学的観点からの持続可能性を学ぶ授業 |
| 試験・課題等 | オンラインでの試験計 3 回 |
| 感想を自由記入 | 採掘法などの側面から環境への影響やサイクルを考えていく授業。普段の授業もオンラインと対面、両方自由に選ぶことが出来る。 |

| | |
|--------------------|--|
| 履修した授業科目名(留学先大学言語) | 履修した授業科目名(日本語) |
| Roman Culture | ローマ文学 |
| 科目設置学部・研究科 | |
| 履修期間 | 1 学期間 |
| 単位数 | 3 |
| 本学での単位認定状況 | 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい) |
| 授業形態 | (チュートリアル、講義形式等) |
| 授業時間数 | 1 週間に 55 分が 3 回 |
| 担当教授 | |
| 授業内容 | ローマ文学 |
| 試験・課題等 | 定期試験計 2 回＋期末試験 |
| 感想を自由記入 | ローマの文学作品をテーマに、その当時の背景や歴史を学ぶ授業。歴史的な出来事だけでなく、文学作品の内容理解も問われる授業。 |

卒業後の進路について

1) 進路 ※3 年生以下の方は今後の予定を記載してください。(下記 2 以降は記入不要)

就職 進学 未定 その他:

2) 進路決定の際に活用したウェブサイト、書籍、機関等

3) 就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。内定を得た企業すべての名前、あるいは入社すると決定した企業の名前のみでも構いません。就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。

4) 就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。
(例: 留学中の就職活動へ向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。)
就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。
ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。
就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。

5) 進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。

6) 進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。

7) その他を選択した方は、その進路を選択した理由と、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。

(例: 語学試験の勉強、選考、出願、ビザ申請・取得、航空券購入、予防接種、滞在先確保、留学中の中間試験・期末試験、その他イベント等)

| | | |
|----------|---------|------|
| 留学開始年の前年 | 1月～3月 | |
| | 4月～7月 | |
| | 8月～9月 | |
| | 10月～12月 | 選考など |
| 留学開始年 | 1月～3月 | 入学許可 |
| | 4月～7月 | ビザ取得 |
| | 8月～9月 | 渡航 |
| | 10月～12月 | |
| 留学/帰国年 | 1月～3月 | |
| | 4月～7月 | 帰国 |
| | 8月～9月 | |
| | 10月～12月 | |

留学を志す学生へのアドバイス

※ これから留学を志す学生へ、この留学先国・大学を選んだ理由、留学生活全般等について、アドバイスを記入してください。

私がジョージア大学を選んだ理由は主に2つあります。1つ目はアメリカの広いキャンパスや多様な学生環境に魅力を感じたことです。2つ目は自分の専攻分野だけでなく、幅広い学びや経験ができると思ったからです。また、留学生へのサポートも充実しており、挑戦しやすい環境だと感じました。

留学生活では、特に日常生活の中で教訓を得ることが多くありました。英語でのコミュニケーションや各種手続きなど、日本にいただけでは得られない経験をたくさんすることができました。

これから留学を考えている方には伝えたいことが1つあります。それは自ら挑戦する心を持つことです。実際には現地で学びながら慣れていくことも多く、失敗も含めて大きな経験になると考えます。主体的に行動することで、留学生活はより充実したものになると思いますので、頑張ってください。応援しています。